

Q
42

「ディープ」と「ミドル」とはどう違うの？

A

同じ幅45 cmの機種ですが、タンクの内寸、庫内容積に大きな差があります。
食器点数の違いだけでなく、セット性や使い勝手にもこの「差」が大きく影響します。



- ディープタイプは見た目通り、タンクの幅(内寸)が4 cm、深さ(内寸)9.5 cm、ミドルタイプより広くなっています。
- 庫内容積はミドルタイプに比べ、約20 Lもディープタイプの方が大きくなっています。

ディープタイプ

- 6人分の食器類をセットした後から、鍋やフライパンを伏せ置きできます。27 cmまでの長い調理道具は、小物入れに立てて入れることができます。また深さがあるので上カゴの下に空間のゆとりがあり、下カゴの食器類の出し入れもラクに行なえます。

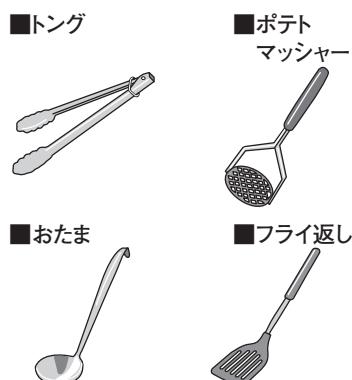
ミドルタイプ

- お皿や茶碗などの食器類は、人数分がスッキリ収まります。しかし大きな鍋類やフライパンなどを入れると、ドアが閉まらなくなる恐れがあります。またおたまやフライ返しなど長い物は縦には入りませんし、ボウルなど深さのある調理道具は入れ方に工夫が必要になります。

※1:庫内容量測定基準:下方の最下部にある食器カゴの線材の下部とする(食器カゴからの下方への部分的な突起は除く)。上方は庫内の天面部とし、左右方向・前後方向は、庫内壁とする。※2:「標準食器」とは、日本電機工業会「電気食器洗い機用食器に関する自主基準(2009年9月17日改正)」に基づいています。

解説 「深くて、広い!」…だからDEEPなら、こんなものもラクに入ります!

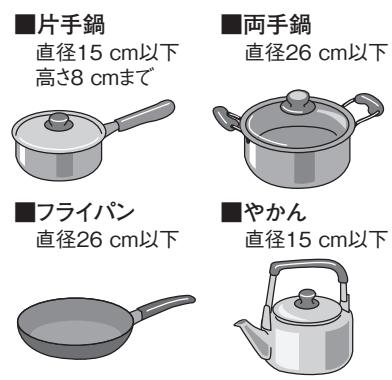
●「長い」モノ (小物入れに入る場合、27 cmまで)



●「背丈がある」モノ (高さ33 cmまで)



●「かさがある」モノ



※形状やセット位置によっては入らない場合があります。

知つトク！周辺情報

はじめての食洗機！選び方のポイントは…

食洗機だけに限らず、新しく「モノ」を購入するときには、「何がどう違うのかわからない…」とあれこれ迷ってしまいますよね。そこで「選び方」をアドバイス。



Point 1

家族の人数より、入るものの大ささで選ぶ。

食器だけなら5～6人分の容量は今や当たり前。チェックすべきは家族の人数分の食器に加えて、大型の調理器具も一緒にに入るかどうか。「大容量」をうたっていても、実際にはフライパンや鍋類が入らない場合もあります。また、セットできる食器のサイズも微妙に違うのにも注意。例えばグラス類は高さ11cmまでのミドルタイプに比べ、ディープタイプなら14.5cmまでのものが入ります。大皿も24cmまでのミドルに比べて、ディープは30cm(3枚)までの大きさまで入ります。

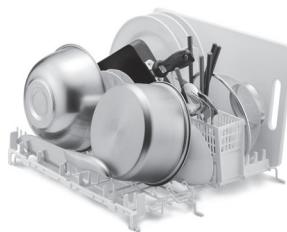
※大皿BINの奥に小皿をセットしなければ、直径25cmまで入ります。



Point 2

ストレスなく食器類をセットできること。

庫内の広さや深さが十分でなかったり、上カゴのスライド幅が小さいと、下カゴに入れ忘れた椀類1つのために、上カゴに載せたグラス類などを全部取り出す羽目にも。セット位置を1つ1つ考えながらの作業は案外ストレス。手に取ったものからどんどん入れられてこそ、食洗機の便利さが実感できるというもの。実際に上カゴをご自分の手で動かして、セットをイメージしてみてください。



Point 3

ガンコな汚れにも強いこと。さらに除菌もできること。

洗浄性能について、はじめての方なら当然疑問はお持ちのはず。今はどの食洗機も、普通の油汚れなどカンタンに落とすことができます。あとは、どれほどガンコな汚れを落とせるか。そして「除菌」ができるか、ということ。

洗剤成分中の酵素の力を十分発揮する洗浄温度設定になっているか、カタログなどで確認してみましょう。

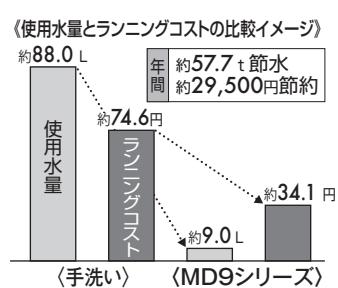


Point 4

水道代、電気代をできるだけ節約すること。

毎日使うものだから、水や電気にどのくらいお金がかかるか気になりますよね。どのメーカーもカタログに手洗いと標準コースとの比較数値を掲載しています。使う水はおおよそ手洗いの約1/9。

コストは手洗いの半分以下です。ちなみにパナソニックの食洗機は「標準コース」で運転時、汚れの量、食器量、室温をセンサーが検知して、自動的にすすぎ回数やすぎ温度を下げ、乾燥時間を短くする「AIエコナビ」を搭載。さらに機械が節水・節約してくれます。



Q
43

「大容量」ってホントに必要なの？

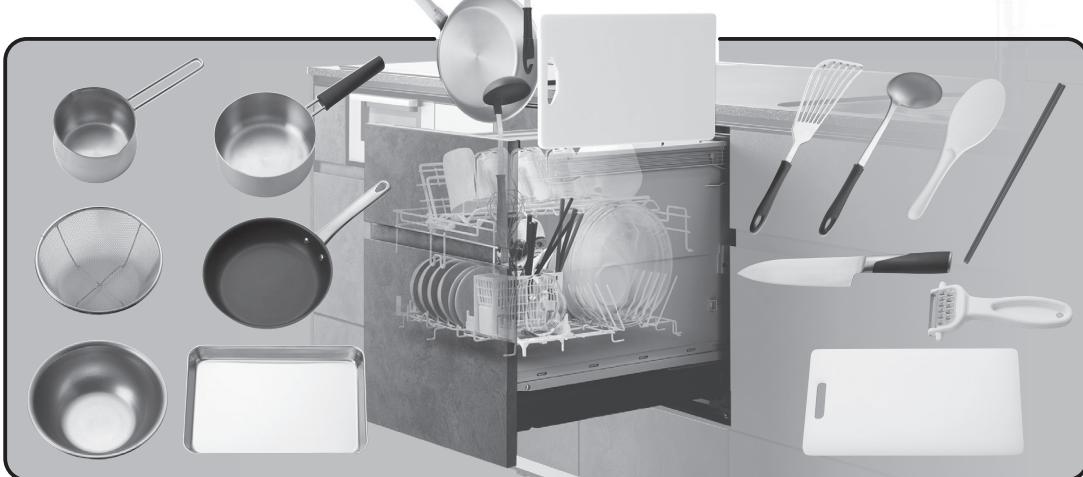
A

家族数が少なければ、使う食器類の数は少ないですが、食事を作るための器具や道具の量は、家族数には関係なく、結構な数になります。後片付けの洗いものを、できるだけ食洗機に任せるためにも、容量は「大きい」ものがおすすめ。食器と調理器具がボタン1つで一度に洗えます。



今夜はハンバーグステーキ！
夫婦2人でも、これだけの洗いものがでます。

- ・まな板
- ・包丁
- ・しゃもじ
- ・フライ返し
- ・ピーラー
- ・お玉
- ・ボウル(2)
- ・ザル
- ・バット
- ・菜ばし
- ・フライパン
- ・片手鍋
- ・大皿(2)
- ・中皿(2)
- ・小皿(2)
- ・スープカップ(2)
- ・グラス(2)
- ・ナイフ&フォーク(2)

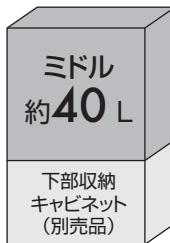
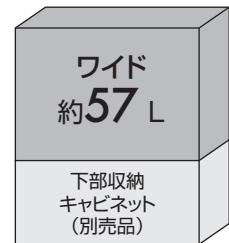


「DEEPタイプ」なら食器以外も丸ごとお任せ！

●「ワイドタイプ」は「DEEPタイプ」とどう違うの？

●幅60 cm機種のことを通常「ワイドタイプ」と呼んでいます。庫内幅(内寸)は幅45 cm機種に比べて約15 cm広く、庫内容積はDEEPタイプとほぼ同じ約57 Lあります。

約7人分50点と、DEEPに比べて食器はたくさん入りますが、深さはミドルタイプとほぼ同じため、背の高いものや深い調理器具などは入りません。「大容量」ではありますが、おすすめするのは「DEEP」です。



《各タイプの容量とサイズイメージ比較》

知つトク！周辺情報

はじめての「買替え」！選び方のポイントは…

新規購入時と同様に、長く使ってきた食洗機を買い替える時も、どの機種を選べばよいのか悩むところ。家族構成やライフスタイルに合わせて、マッチした機能や特長を賢く選ぶためのポイントをアドバイス。



共働きのカップル



子育て中の
ファミリー



子供が独立。
シニア夫婦

家の効率化が最優先

●ご夫婦ともに仕事中心の生活。帰宅後の短い時間で夕食の準備に追われ後片付けの気力も失いがちに…。食洗機なら後片付けのストレスからも開放されます。セットするわずかな時間も効率がものを言います。

子供とふれあう時間のゆとり

●お子様がいるご家庭は毎日が大忙！洗濯やお掃除もいっぱいあって、子供にかまっている時間もないほど。せめて夕食後くらいは、後片付けを食洗機に任せて、お子様との時間を過ごしてください。

家の軽減、省力化

●家族は2人だけだから食洗機はもう要らない。そう仰る方も多いのは事実。水道光熱費を考えても、将来加齢とともにかかる手洗いの体への負担を考えても、お2人だけでも食洗機をおすすめします。

こんな機能や特長に「着目」してご検討ください。

- 上カゴを自由にアレンジでき、手に取ったものからどんどんセットできる「ムービングラック プラス」。後片付けの時間をさらに短縮することができます。さらに「DEEP」タイプなら庫内が広くセットもラクラク。
- 熱に弱いプラスチック製品(60 °C~90 °C未満)などは低温で洗浄する「低温コース」や「節電コース」で対応できます。

- 「3Dプラネットアームノズル」+「ストリーム除菌洗浄」でお子様の食器も任せて安心。
- お子様用の樹脂製食器などは低温で洗浄する「節電コース」で対応できます。
- 10年前、約60 °Cもあった排気温度は約45 °Cに低温化。(KD9AP/K9シリーズは約35 °Cと体温レベル)お子様がキッチンにいても大丈夫。

- セットする食器の量が少ないとセンサーが水と電気を節約。さらにエコ度アップの「AIエコナビ」・調理器具の手洗いは、「DEEP」タイプなら不要に。後片付けの負担が一挙に軽減されます。
- パナソニックはすべての機種が引き出し式。ドアの開閉も軽く、固いロックバーもありません。

ご存知ですか？「家事ハラ」

「皿洗いなんてカンタンだろ?」「食器くらい手で洗えよ。」これらのセリフは全部「家事ハラ」にあたるかもしれないって、ご存知ですか。家事を「仕事より価値の低いもの」と考えて軽く見たり、思いやりの無い言葉を発すること。ひどい場合は家庭不和の原因にもなります。家事労働の負担を軽減することが家事ハラを起さないための方法です。食洗機も家事負担を軽減する「脱・家事ハラ」の強い味方になります。

